# 第３章　交流と文化によるまちのにぎわいづくりと地域を支えるものづくり

## 第２節　地域を支えるものづくり

第１　基幹産業としての農業の振興
第２　魅力を秘めた林業の振興
第３　活気あふれる水産業の振興
第４　にぎわいのある商業・サービス業の振興
第５　力強い工業の振興
第６　安定した雇用の拡大
**第７　新しい産業の創出**
第８　物流の高度化・国際化

産学官連携室

**めざす方向**

製造業やサービス業、地元企業と鳥取大学・鳥取環境大学、県試験研究機関などとの連携を強化し、新技術・新製品の開発や新規事業の開拓などによる新しい産業の創出を図り、地域経済の活力を向上させます。

**現状**

○現在の我が国では、経済不況の長期化に伴い地域社会の活力が低下しています。
○地場産業の活性化、新規産業の創出のためには、地域の持つ資源を有効に活用し、地域内の企業、大学、研究機関や行政機関が一体となって、産学官連携を強化することが求められています。

**市民の声**

○ベンチャー企業※、起業家への資金支援措置を充実してほしい。

**課題**

○国際競争力強化のため、特許等の知的財産の活用、産学官連携の強化、ベンチャー企業の育成、産業クラスター※形成等による地域イノベーション※の創出が必要となっています。

※ ベンチャー企業　Ｐ．２１参照
※ 産業クラスター　地域の中小企業、大学等の研究者が活発に交流し、新事業展開等を図る新たな産業集積をめざすもの
※ 地域イノベーション　地域の経済的価値を生み出す創意工夫

**目標の設定**

| | 平成１６年度 | 平成２２年度 |
|---|---|---|
| ○ベンチャー企業の創出 | １企業 | ７企業 |

**施策の展開**

○ベンチャー企業の育成

- **新たな地域産業の創出に向け、大学発ベンチャーの創出と資金、経営ノウハウ等の円滑な供給や情報発信に努めます。**
- **大学等の持つ研究成果を企業に情報提供し、新事業の展開や大学等が持つ技術の事業化の推進を図ります。**
- 新製品の開発に取り組む企業等に対して、資金等の支援に取り組みます。

○環境関連産業の創出

- **地元企業の持つ技術や大学の持つ研究成果を活かした共同開発、共同研究を進め、環境関連事業の創出と資金等の支援に取り組みます。**
- 環境にかかわる先端的技術の共同研究や共同開発を進めるための環境産業クラスターの形成に取り組みます。
- 循環型社会に向けて、環境負荷低減などに取り組む企業や環境関連企業の誘致に取り組みます。

○産学官連携の強化

- **地域経済の活性化を図るため、産学官連携のネットワーク化の推進に努めます。**
- **地元企業のニーズの把握に努め、大学や研究機関等との連携による共同研究の支援に取り組みます。**
- **既存産業の再構築や新産業創出のための技術者等の育成や経営技術の習得を支援します。**
- 特許等の知的財産に関する産学の理解の増進と、知的財産の積極的な取得、保護、活用に取り組みます。

**効果**

○新しい産業を創出することにより、雇用の安定と就業の促進が図られるとともに、環境関連産業の振興により資源や廃棄物の再利用が一層進むことで、地域の産業構造も環境に配慮したものとなり、循環型社会への転換が促進されます。

○企業、大学、研究機関等が地域社会に貢献する機関としてより高く認識されるとともに、鳥取発の新技術、新製品の開発や、新しい産業が創出されることにより、地域経済の活性化が図られます。

**主な指標・参考資料**

**「鳥取市産学官連携に関するアンケート」調査結果（平成１７年１月実施）**

※ アンケート依頼企業　製造業を中心とする鳥取市内１７６社
回答をいただいた企業　　９２社　（回収率　５２.２%）

問い：現在又は過去における産学官連携事業の実績について

**1. 現在実施中　　２０**

連携先内訳 ： 鳥取大学１５、環境大学１　県産技センター８　その他６
連携形態　 ： 共同研究１３、委託研究４、測定・分析・評価・試験８、技術相談等５
※参考、現時点で回答のあったもの
（・成果があった １４　　・期待通りいかなかった ２）

**２．過去にある　　２１**

連携先内訳 ： 鳥取大学１３、環境大学１　県産技センター８　その他２
連携形態　 ： 共同研究９、委託研究２、測定・分析・評価・試験７、技術相談等１０
（・成果があった １３　　・期待通りいかなかった　７）

**３．無　い　　５２**